



ユーザインターフェイスの概要

OnCommand Unified Manager 9.5

NetApp
December 20, 2023

目次

ユーザインターフェイスの概要	1
一般的なウィンドウレイアウト	1
ウィンドウレイアウトのカスタマイズ	2
Unified Manager ヘルプを使用する	3
よく見るヘルプトピックのブックマーク登録	3
レポートを作成するためのCSVファイルへのデータのエクスポート	4
ストレージオブジェクトを検索しています	5
パフォーマンスインベントリページのコンテンツのフィルタリング	7
Unified ManagerインターフェイスからOnCommand System Managerにアクセスします	8

ユーザインターフェイスの概要

Unified Manager のユーザインターフェイスの主な構成要素は、監視対象のオブジェクトを一目で把握できるダッシュボードです。また、ユーザインターフェイスを使用して、すべてのクラスタオブジェクトを表示できます。

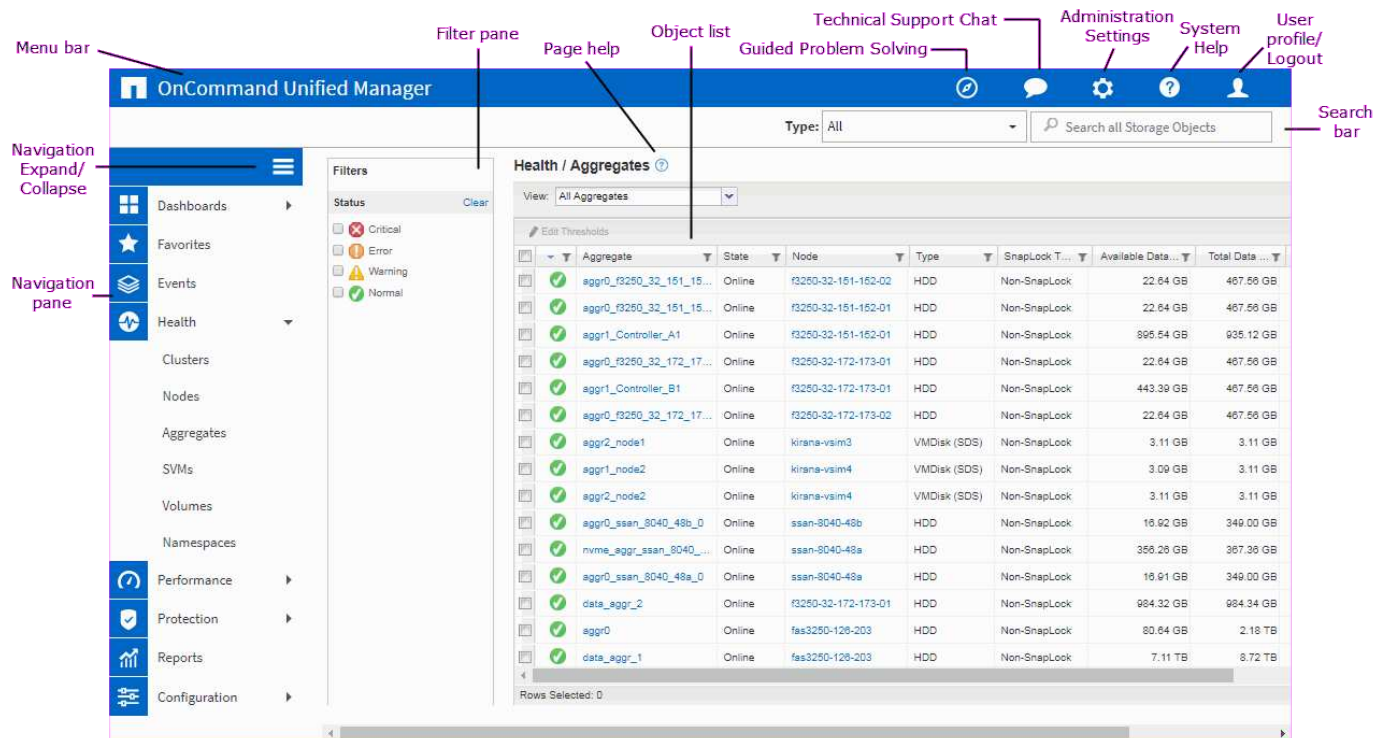
必要に応じて、優先するビューを選択したり、操作ボタンを使用したりできます。画面設定はワークスペースに保存されるため、必要なすべての機能が Unified Manager の起動時に表示されます。ただし、あるビューから別のビューに移動してから元のビューに戻ると、表示内容が異なる場合があります。

一般的なウィンドウレイアウト

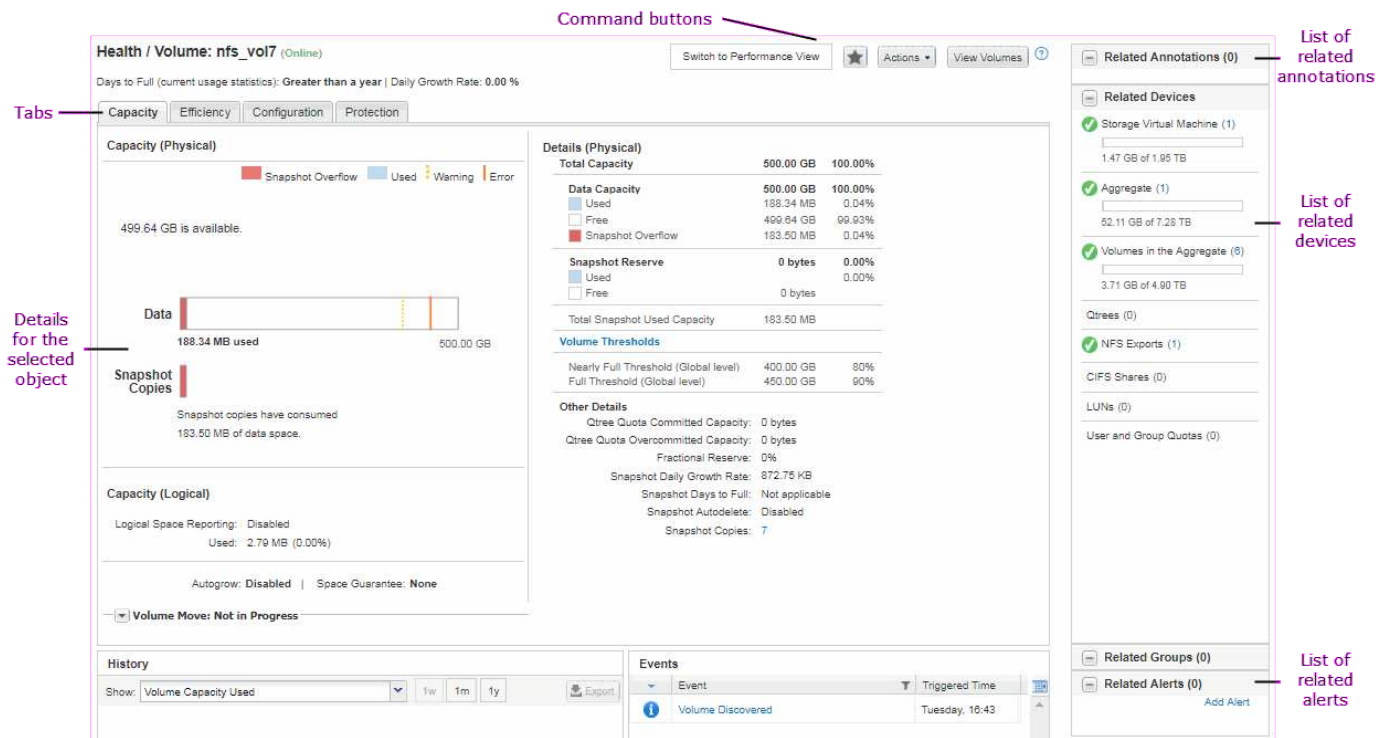
一般的なウィンドウレイアウトを理解しておく、OnCommand Unified Managerを効果的に操作して使用できるようになります。Unified Manager のほとんどのウィンドウは、オブジェクトリストまたは詳細の 2 つの一般的なレイアウトの 1 つに似ています。推奨される表示設定は 1280 × 1024 ピクセル以上です。

次の図のすべての要素がすべてのウィンドウに含まれているわけではありません。

オブジェクトリストウィンドウのレイアウト



オブジェクト詳細ウィンドウのレイアウト



ウィンドウレイアウトのカスタマイズ

OnCommand Unified Managerを使用して、ストレージオブジェクトのページに表示される情報のレイアウトをカスタマイズできます。ウィンドウをカスタマイズすることによって、表示するデータやその表示方法を制御できます。

• * 並べ替え *

列エントリのソート順序を変更するには、列ヘッダーをクリックします。列見出しをクリックすると、ソート用矢印（▲ および ▼）が表示されます。

• * フィルタリング *

フィルタを適用すると、指定した条件に一致するエントリだけが表示されるようにストレージオブジェクトのページの情報の表示をカスタマイズできます。フィルタは、[フィルタ (Filters)] パネルまたは列から適用できます。

[フィルタ (Filters)] パネルでは、選択したオプションに基づいて一部の列をフィルタできます。たとえば、Health/Volumes インベントリページで、Filters ペインを使用して Status 列と State 列だけをフィルタリングできます。オフラインのボリュームをすべて表示するには、State で適切なフィルタオプションを選択します。

また、フィルタアイコン（≡）。その後、ワイルドカード文字フィルタ (?) を使用できます。または、ワイルドカード文字列フィルタ (*) を使用して検索を絞り込むこともできます。たとえば、Health/Volumes インベントリページで、Volume 列の文字列フィルタを使用してボリューム vol234 を検索できます。と入力できます *vol 「vol」という名前のボリュームがすべて表示されます。と入力できます vol? 「vol」という名前に続けて1文字を含むすべてのボリュームのリストを表示するには、vol1 や vol2 のように入力します。と入力できます vol 名前が「vol」で始まるすべてのボリュームのリストを表示します。

容量関連の列に表示される容量データは小数点以下 2 桁に四捨五入され、適切な単位で表示されます。これは、容量の列をフィルタする場合にも適用されます。たとえば、健全性/アグリゲートのインベントリページの総データ容量の列でフィルタを使用する場合、20.45GBを超えるデータをフィルタすると、実際には20.454GBのデータが20.45GBと表示されます。同様に、20.45GB 未満のデータをフィルタすると、実際には 20.449GB のデータが 20.45GB と表示されます。

20.45%を超えるデータをフィルタするには、健全性/アグリゲートのインベントリページのAvailable Data %列でフィルタを使用すると、実際には20.454%と表示されます。同様に、20.45% 未満のデータをフィルタすると、実際には 20.449% のデータが 20.45% と表示されます。容量のデータを割合で示す列では、列に表示された値にマウスポインタを移動すると、小数点以下の数値が最大4桁まで表示されます。

- 列の非表示または再表示

列表示アイコン (⚙️) をクリックして、表示する列を選択します。

- * データのエクスポート *

エクスポートアイコン (📄) をクリックして、データをカンマで区切ってエクスポートします (.csv) を選択し、エクスポートしたデータを使用してレポートを作成します。

Unified Manager ヘルプを使用する

このヘルプは、OnCommand Unified Managerに含まれているすべての機能に関する情報を提供します。目次、索引、または検索ツールを使用して、機能に関する情報や機能の使用方法を検索できます。

このタスクについて

Unified Manager のユーザインターフェイスの各タブおよびメニューバーからヘルプを表示できます。

ヘルプの検索ツールは部分的な単語に対しては機能しません。

選択肢

- 特定のフィールドまたはパラメータの詳細を確認するには、をクリックします (🔍)。
- すべてのヘルプコンテンツを表示するには、* をクリックします (🔍) メニューバーの > ヘルプ / ドキュメント

ナビゲーションペインで目次の一部を展開すると、より詳細な情報を確認できます。

- ヘルプの内容を検索するには、ナビゲーションペインの * 検索 * タブをクリックし、検索する単語または一連の単語を入力して、* 移動 * をクリックします
- ヘルプトピックを印刷するには、プリンタのアイコンをクリックします。

よく見るヘルプトピックのブックマーク登録

[ヘルプのお気に入り] タブでは、頻繁に使用するヘルプトピックをブックマークできます。ブックマークに登録すると、お気に入りのトピックにすばやくアクセスできます。

手順

1. お気に入りに追加するヘルプトピックに移動します。
2. [* お気に入り *] をクリックし、 [* 追加 *] をクリックします。

レポートを作成するためのCSVファイルへのデータのエクスポート

データをカンマ区切り値でエクスポートできます (.csv) を作成し、エクスポートしたデータを使用してレポートを作成します。たとえば、未解決の重大イベントが10件ある場合、イベントインベントリページからデータをエクスポートしてレポートを作成し、それらのイベントに対処することができます。

作業を開始する前に

オペレータ、OnCommand 管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

このタスクについて

にデータをエクスポートできます .csv ファイルを生成します。

エクスポート機能は、Infinite Volumeのコンスチチュエントについてはサポートされていません。-コンスチチュエントの詳細をにエクスポートすることはできません .csv ファイル。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

エクスポートする項目	手順
イベントの詳細	[イベント]をクリックします。
ストレージオブジェクトのインベントリの詳細	左側のナビゲーションメニューから* Health または Performance *をクリックし、ストレージオブジェクトを選択します。
ストレージ容量と保護の履歴の詳細	<ul style="list-style-type: none">• Health > Aggregates * or * Health > Volumes * をクリックし、1つのアグリゲートまたはボリュームを選択します。
SVMのqtreeまたはNFSエクスポートの情報	<ul style="list-style-type: none">• Health > SVM*をクリックし、1つのSVMを選択して、* Qtrees または nfs exports *タブを選択します。

エクスポートする項目	手順
上位 10 個のストレージオブジェクトのパフォーマンスの詳細	[パフォーマンス>]、[クラスタ]の順にクリックし、クラスタを選択して、[パフォーマンス上位]タブを選択します。次に、ストレージオブジェクトとパフォーマンスカウンタを選択します。

2. [* Export* (エクスポート)]ボタンをクリックします。
3. [* Export to CSV* (CSVにエクスポート)]をクリックして、エクスポート要求を確認します。

パフォーマンス上位タブおよびSVMの詳細ページから、表示している単一のクラスタの統計のレポートをダウンロードするか、データセンター内のすべてのクラスタの統計のレポートをダウンロードするかを選択できます。

ファイルがダウンロードされます。

4. を開きます .csv ファイルを適切なアプリケーションに保存します。

ストレージオブジェクトを検索しています

特定のオブジェクトにすばやくアクセスするには、インターフェイスの右上にある「* Search All Storage Objects 」フィールドを使用します。すべてのオブジェクトをグローバルに検索する方法を使用すると、特定のオブジェクトをタイプ別にすばやく見つけることができます。検索結果はストレージオブジェクトのタイプ別に表示され、「*タイプ」ドロップダウンメニューを使用してさらにオブジェクト別に絞り込むことができます。

作業を開始する前に

- このタスクを実行するには、オペレータ、OnCommand 管理者、またはストレージ管理者のいずれかのロールが割り当てられている必要があります。
- 検索キーワードは 3 文字以上にする必要があります。

このタスクについて

[タイプ]ドロップダウンメニューの値として[all]を使用すると'グローバル検索では'すべてのオブジェクトカテゴリで検索された結果の合計数が表示され'オブジェクトカテゴリごとに最大25件の検索結果が表示されますタイプ(Type)ドロップダウンメニューから特定のオブジェクトタイプを選択して'サーチを特定のオブジェクトタイプに絞り込むことができますこの場合、結果のリストに表示されるオブジェクトの数は上位 25 個に限定されません。

次のオブジェクトタイプを検索できます。

- クラスタ
- ノード
- SVM
- アグリゲート

- 個のボリューム
- qtree
- CIFS共有
- ユーザクォータまたはグループクォータ
- LUN
- NVMe ネームスペース
- イニシエータグループ
- イニシエータ

検索結果内の任意のオブジェクトをクリックすると、そのオブジェクトの健全性の詳細ページが表示されます。オブジェクトに直接健全性ページがない場合は、親オブジェクトの健全性ページが表示されます。たとえば、特定の LUN を検索する場合は、その LUN が配置されている SVM の詳細ページが表示されます。

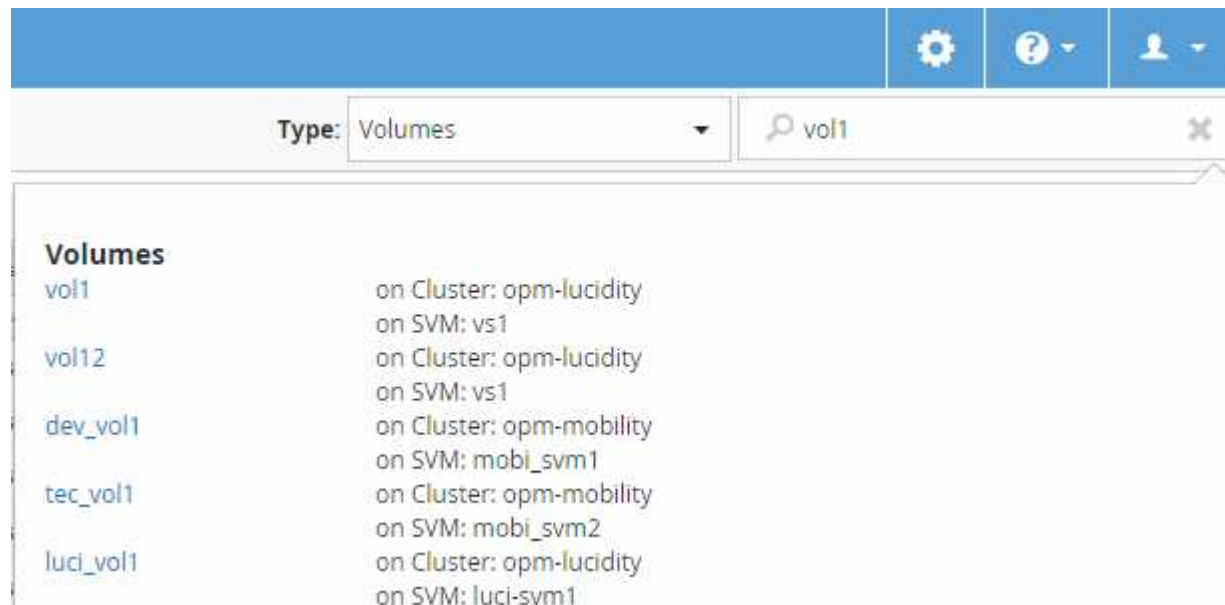


ポートはグローバル検索バーでは検索できません。

手順

1. [タイプ* (Type *)]メニューからオブジェクトタイプを選択して、検索結果を1つのオブジェクトタイプに絞り込みます。
2. [すべてのストレージオブジェクトの検索] フィールドに、オブジェクト名の 3 文字以上を入力します。

この例では、*タイプ*ドロップダウンボックスでVolumesオブジェクトタイプが選択されています。[Search All Storage Objects]フィールドに「vol1」と入力すると、名前にこれらの文字が含まれるすべてのボリュームのリストが表示されます。



パフォーマンスインベントリページのコンテンツのフィルタリング

Unified Managerでパフォーマンスインベントリデータをフィルタリングして、特定の条件に基づいてデータをすばやく特定できます。フィルタリングを使用すると、Unified Manager のページの内容を絞り込んで、関心のある結果だけを表示できます。そのため、関心のあるパフォーマンスデータだけを効率的に表示できます。

このタスクについて

環境設定に基づいてグリッド表示をカスタマイズするには、* フィルタリング * を使用します。使用可能なフィルタオプションは、グリッドで表示しているオブジェクトタイプによって異なります。フィルタが現在適用されている場合は、Filteringコントロールの左側にアスタリスク (*) が表示されます。

4種類のフィルタパラメータがサポートされています。

パラメータ	検証
文字列 (テキスト)	演算子には、* contains および starts with *があります。
番号	演算子は*より大きく*より小さい*と*より小さい*です。
リソース	演算子は* name contains 、 name starts with *です。
ステータス	演算子は * は * で、 * は * ではありません。

各フィルタについて、3つのフィールドをすべて指定する必要があります。使用可能なフィルタは、現在のページのフィルタ可能な列に基づいて決まります。適用できるフィルタは4つまでです。フィルタパラメータの組み合わせに基づいてフィルタされた結果が表示されます。フィルタされた結果は、現在表示されているページだけでなく、フィルタ処理された検索のすべてのページに適用されます。

フィルタパネルを使用してフィルタを追加できます。

1. ページの上部にある[Filtering](フィルタリング)をクリックします。フィルタリングパネルが表示されます。
2. フィルタリングパネルで、左側のドロップダウンリストをクリックし、オブジェクト名 (Cluster、パフォーマンスカウンタなど) を選択します。
3. 中央のドロップダウンリストをクリックし、ブール演算子*名に*が含まれているか、最初の選択がオブジェクト名の場合は*で始まる名前を選択します。最初の選択がパフォーマンスカウンタであった場合は、「より大きい」または「*より小さい」を選択します。最初の選択が「*ステータス」の場合、「は」または「*は*ではありません」を選択します。
4. 検索条件に数値が必要な場合は、右のフィールドに上下の矢印ボタンが表示されます。上矢印ボタンと下矢印ボタンをクリックすると、目的の数値を表示できます。
5. 必要に応じて、右側のテキストフィールドに数値以外の検索条件を入力します。

6. フィルタを追加するには、*フィルタの追加*をクリックします。追加のフィルタフィールドが表示されます。前述の手順に従って、このフィルタを設定します。4番目のフィルタを追加すると、[フィルタを追加 (Add Filter)] ボタンが表示されなくなることに注意してください。
7. [フィルタを適用 (Apply Filter)] をクリックする。フィルタオプションがグリッドに適用され、[フィルタリング (Filtering)] ボタンにアスタリスク (*) が表示されます。
8. フィルタパネルを使用して、削除するフィルタの右側にあるゴミ箱アイコンをクリックして、個々のフィルタを削除します。
9. すべてのフィルターを削除するには、フィルターパネルの下部にある *リセット* をクリックします。

フィルタリングの例

次の図は、フィルタパネルと 3 つのフィルタを示しています。フィルタの追加*ボタンは、最大4つまでのフィルタがある場合にのみ表示されます。

The screenshot shows a filter panel with three filter rows. Each row has three main columns: a field type dropdown, a comparison operator dropdown, and a value input field. To the right of each row is a trash icon for deletion. At the bottom left is a '+ Add Filter' button, and at the bottom right are 'Cancel' and 'Apply Filter' buttons.

MBps	greater than	5	MBps	[trash icon]
Node	name starts with	test		[trash icon]
Type	is	FCP Port		[trash icon]

+ Add Filter

Cancel Apply Filter

[フィルタの適用 (Apply Filter)] をクリックすると、[フィルタ処理 (Filtering)] パネルが閉じ、フィルタが適用されます。

Unified Manager インターフェイスから OnCommand System Manager にアクセスします

トラブルシューティングでクラスタの構成の変更が必要な場合は、ONTAP コマンドライン インターフェイスの代わりに System Manager のグラフィカル インターフェイスを使用することができます。System Manager は Web サービスとして ONTAP に搭載されており、デフォルトで有効になっていて、ブラウザからアクセスできます。

作業を開始する前に

を使用してクラスタ ユーザー アカウントを設定しておく必要があります admin ロールと http、ontapi および console アプリケーションタイプ:

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、* Dashboards > Cluster View * をクリックします。
2. [* Dashboards/Cluster View *] ページで、管理するクラスタを選択します。

そのクラスタの監視ステータス、容量、およびパフォーマンスの概要が表示されます。

3. System Manager *アイコンをクリックします。

自己署名のデジタル証明書がクラスタで使用されている場合、信頼されていない証明書であることを示す警告がブラウザ画面に表示されることがあります。危険を承諾してアクセスを続行するか、認証局（CA）の署名のあるデジタル証明書をクラスタにインストールしてサーバを認証します。

4. クラスタ管理者のクレデンシャルを使用して System Manager にログインします。

System ManagerのユーザインターフェイスへのログインがSAML認証で保護されている場合は、System Managerのログインページではなくアイデンティティプロバイダ（IdP）のログインページでクレデンシャルを入力します。

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。